

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えになりましたことと存じます。先ずもって心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年は4月に雲南市、安来市、奥出雲町の2市1町で申請していた『出雲國たたら風土記』鉄づくり千年が生んだ物語』が日本遺産に認定されました。このことは、人と自然とが共生する持続可能な産業として、たたら製鉄が高く評価されたものと考えています。一昨年、島根県を舞台に撮影された錦織良成監督の映画「たたら侍」も本年5月公開を待つところとなり、「たたら」と「奥出雲町」の名が更に全国に知れ渡って行く事を期待しております。今後は、鉄の道文化圏推進協議会を中心に、関係機関や地域住民が参画する日本遺産プロジェクトを立ち上げ、国内外への情報発信や観光振興、地域振興に取り組み、世界遺産登録を目指してまいります。

製鉄を背景にした農業システムの価値を整理し、平成29年度の申請に向け準備を進めております。この農業システムは世界でも例にないものであり、世界に情報発信することにより、奥出雲町の活性化につなげて行きたいと考えております。

スポーツにおいては、横田中、仁多中、横田高校男子ホッケー部が全国の舞台で活躍し、輝かしい成績を残しました。また、9月に閉幕したリオデジャネイロオリンピックでは、日本が過去最多のメダルを獲得する中で、女子ホッケー競技に三成地区出身の錦織えみ選手が出場し、活躍されました。2020年に開催される東京オリンピックでは、海外のホッケーチームの事前合宿を誘致するため、招致委員会を中心に活動を行っております。誘致を実現させ、将来のオリンピック選手を夢みる子ども達にも、世界の技に触れる機会をぜひとも作りたいと思います。

次に、出雲市で開催された第60回島根県消防操法大会において、奥出雲町消防団は布勢分団がポンプ車の部準優勝、八川分団が小型ポンプ車の部8位と大いに健闘してくれました。本年、大田市で開催される県大会へ出場予定の三沢分団、馬木分団の活躍も期待するところであります。農業においては、12月に開催され

た第18回米・食味分析鑑定コンクール国際大会において、奥出雲仁多米(株)が出品した「仁多米コシヒカリ」が最高峰となる国際総合部門の最終審査で特別優秀賞を受賞いたしました。このほか、LFP横田特定農業法人ネットワークが都道府県代表お米選手権で金賞、布勢小学校が小学校部門で特別優秀賞を受賞し、本町特産の仁多米がブランド価値の高い良質米であることを国内外に発信できました。

また、本年9月に宮城県で開催される第11回全国和牛能力共進会に、奥出雲町が第5区繁殖雌牛群の島根県代表として参加することが決定しております。大会に向け更に磨きをかけていただき、奥出雲町の名声を一層高めていただけるものと期待しております。

さて、本町の平成28年度の一般会計予算は、12月補正予算後で162億5940万円を計上することになりました。生活基盤整備、雇用対策、定住対策、子育て支援など、当面する諸課題に対応するとともに、現在の経済情勢に鑑み、切れ目ない景気対策を行い、奥出雲町総合戦略の基本理念「本物の「幸せ」を実現する希望の地奥出雲」の実現を目指してまいります。

健全化判断比率については、普通会計ベースで、実質公債費比率は15.0%と対前年度比0.7ポイントの減となり、また将来負担比率も165.9%と、対前年度比7.5ポイント減と改善しました。財政の健全度をみる指標である経常収支比率は、86.5%と対前年度比で0.4ポイント上昇しましたが、今後もよりいっそう健全で持続可能な財政運営に努めてまいります。

本年も引き続き、町民の皆様から要望の多い生活基盤の整備や農業の振興、観光振興や定住対策に努めながら、財政運営には細心の注意を払ってまいります。

結びになりますが、本年が皆様にとりまして、明るく希望に満ちた幸せな年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

平成29年 元旦
奥出雲町長 勝田 康則

みんなで人権について考えよう「人権標語・イラスト」優秀作品を表彰

人権意識の高揚と啓発を図るため、奥出雲町人権教育推進協議会では毎年、人権標語と人権イラストを募集しています。

今年は、標語に970点、イラスト22点の応募があり、12月10日、横田コミュニティセンターで表彰式を行いました。

各部門の最優秀は次のとおりです。

【標語の部】

藤崎 雪汰さん(馬木小3年)

「されてみて はじめて気づく いやなこと」



藤崎 雪汰さん

【イラストの部】

作野 優衣さん(島根デザイン専門学校2年)



最優秀イラスト



作野 優衣さん

～まちのできごと～

第49回島根県総合美術展デザインの一部 佐藤由梨さんが知事賞

第49回島根県総合美術展(以下、県展)デザインの部において、最高賞である知事賞を佐藤由梨さん(鳥上)が受賞されました。

受賞作品の「幸福の時間」は、ペンだけを使って仕上げられた作品で、シャープな線を緻密に重ねた表現などが高く評価されています。

受賞に関して、佐藤さんは「とても驚きました。これまでに映画を鑑賞したり、デザイン画の講習に参加したりして得たものが活かされた結果だと思えます。」と話されました。また、「今後は無理せず楽しく描いていけるよう頑張りたい。」と抱負を語られました。

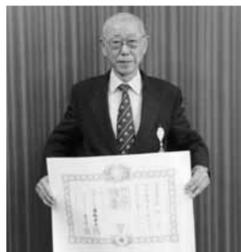
受賞作品は、2月9日から20日に横田コミュニティセンターで開催される「樹氷展」、2月22日から3月1日に三成中央公民館で開催される「立春展」で町内在住者の県展里帰り作品とともに展示されます。



佐藤さんと知事賞受賞作品「幸福の時間」

秋の叙勲

瑞宝双光章 松浦 昇さん(横田)



昭和63年に保護司に着任されてから28年間、地域の更正保護活動にご尽力され、この度叙勲の栄に浴されました。

受章おめでとうございます。

仁多乃炎太鼓

大晦日年越演奏

仁多乃炎太鼓による大晦日年越演奏が、三成の仁多土木事業所前で行われました。

かがり火が灯された幻想的な雰囲気の中、子どもたちで構成される仁多乃飛炎太鼓や仁多乃炎太鼓による渾身の演奏が披露されました。

最後はメンバー全員による「打てや囃さん」で、賑やかに新年を祝いました。

